

下関学術講演会の報告について

学術講演会が下関病院附属地域診療クリニックで開催されました。2018.03.23

講演のテーマは「認知症初期集中支援チーム」で、北海道の砂川市立病院 認知症疾患医療センターのセンター長である内海久美子先生を講師にお招き致しました。



先生の勤務地である砂川市は、高齢化率 39%！！（下関市の高齢化率 34.2%）

砂川市は、下関市よりも高齢化が進んでいる状況です(°Д°)!! しかし、チームとして着実に成果を上げています。その理由は、個人的に印象に残ったものとして「かかりつけ医との連携」です。かかりつけ医としっかりとした連携があれば、チームの支援が終結したとしても、引き続き顔見知りの医師による診察を受けることができ、住み慣れた土地で長く過ごすことができる。私たちもわざわざ新しい土地で暮らしていくよりも自分の知り合いがいたり、馴染み深い場所がいっぱいある土地の方が安心ですよ。

また、他に成果を上げている理由として、タブレットでの情報伝達（近未来的ですね）、専従チームなどなど。挙げたらきりが無いぐらい色々活動されています(..)φメモメモ

このように色々やっている所も援助のザルの目を細かくして、より手を差し伸べやすくしているのかもしれませんが。

質疑応答の際には、活発なご意見が飛び交いました。



質問をされる末次院長



閉会の挨拶をされる中山医師

病院スタッフとして、今回の講演に心が揺り動かされました。地域の方々が、生まれ育った土地で少しでも長く暮らせるように、良いものを取り入れながら、仕事に励みたいと思います！！

心理技術科 圓城寺 亮介